

一、如何な山原の枯木島やても(ヨー)い
もりもり里前(ジントーヨー)花も咲
ちゆさ

二、野辺の百草の緑ましゆ頃や我身も年
頃の花も咲ちゆさ

いかなやんばるぬかりきじまやてい
ん(よー)いもりもりさとうめ(じ
んとよー)はなんさちゆさ

ぬびぬむむくさぬみどうりましゆく
るや わみんとうしぐるぬはなんさ
ちゆさ

無蔵が云るごとに山原に來りば野
山若々と 眺め美らさ

山原の泉あま水の湧ちゆし 何時も
若々と緑ましゆさ

んぞがいるぐとうに やんばるにち
やーりば ぬやまわかかとう なが
みじゆらさ

やんばるぬいずん あまみじぬわち
ゆし いちんわかかかとうみどうり
ましゆさ

三、まじしさるなかも互に肝合わち 一
人たれいだれいちばていかな

四、山国に居ても町方に居ても 肝持ち
ど第一 身なり第一

まじしさるなかんたげにちむ あわ
ちちゆいたれーだれーちばてい
かな

やまぐににううていん まちがたに
ううていん ちむむちどうでーいち
みなりでーいち

互に住みなれば山原も都 思る仲や
れば肝どやゆる

たげにしみなりば やまぐにんみや
くうむるなかやりば ちむどうやゆ
る

五、一どんな山原の枯木村里であつて
も(よ)いらつしやい貴方(本当に
よー)花も咲くよ(括弧は以下省略)
二 貴女が云うので山原に來たら野
山は若々しく眺めはなんと美しいこ
とよ!
三 野辺のたくさんの草が芽吹く頃
は私も年頃の花も咲くよ
四 山原の泉 真水が沸いている。い
つでも若々と緑が濃くなるよ

六、五 貧しい中も心合わせて 一人ひと
りが補い合つて頑張つていきたいな
六 互いに住み馴れれば山国も都 思
う仲なので(大事なものは)心こそであ
る
七 山国に居ても町の方に居ても心
の持ち方が大切 身なりが大切